

## 企画展プレスリリース

## 「並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

## 1 展覧会名 開館25周年記念展Ⅱ

## 並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝

## 2 会 期 令和4年7月9日 [土]～9月25日 [日]

休 館 日：月曜日（ただし、7月18日（月・祝）および9月19日（月・祝）は開館、7月19日（火）は休館）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

## 3 展覧会概要（資料2～3ページ参照）

明治時代、輸出用の工芸として人気を博した七宝。並河靖之(1845-1927)は、京都で七宝作家として活躍しました。並河は武士出身でしたが、明治維新後は七宝業に取り組み、海外で人気を博しました。明治29年(1896)には帝室技芸員となり、当代一流の工芸家としての地位を確立することになりました。

近年、明治時代の美術・工芸が再注目されています。近代日本美術の発展に尽くした岡倉天心(1863-1913)の業績を顕彰する当館では、天心と同時代に活躍した並河靖之の初期から晩年までの七宝作品を一堂に紹介する展覧会を開催します。

本展では、並河七宝の名品に加え、下絵等の関連資料、修学院離宮に伝わる江戸時代初期の飾り金具さらに並河と同時期に活躍し「東のナミカワ」と呼ばれたなみかわ濤川惣助の七宝作品なども展示することで、並河七宝の魅力を明らかにします。

## 4 出品作品（資料5ページ参照）



並河靖之「桜蝶図平皿」  
明治期  
直径24.6cm×厚2.5cm  
京都国立近代美術館蔵

## 《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:村木正英(むらき まさひで)／広報担当:大津友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<http://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

## 企画展プレスリリース「並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝」

### 1 展覧会名

並河靖之の雅な技 世界を魅了した明治の京都七宝

### 2 会 期

令和4年7月9日〔土〕～9月25日〔日〕

休 館 日：月曜日（ただし、7月18日（月・祝）および9月19日（月・祝）は開館、7月19日（火）は休館）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

### 3 会 場

茨城県天心記念五浦美術館 展示室ABC

### 4 主催等

主催：茨城県天心記念五浦美術館 協力：公益財団法人並河靖之有線七宝記念財団

### 5 後 援

朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／  
東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会

### 6 入館料

一般840(730)円/満70歳以上420(360)円/高大生630(520)円/小中生320(210)円

※（ ）内は、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方および  
付添いの方1名は無料

※夏休み期間中を除く土曜日は高校生以下無料

※9月15日～21日は満70歳以上の方無料

### 7 並河靖之の略歴

弘化2年(1845)～昭和2年(1927)

川越藩高岡九郎左衛門の三男として京都に生まれた。安政2年(1855)青蓮院宮侍臣並河靖全の養子となる。明治初め頃から七宝製作に携わり、中国の七宝を研究。明治6年(1873)に第1作目の鳳凰文食籠を完成させる。翌年(1874)尾張の桃井秀英より指導を受ける。明治8年(1875)京都博覧会に七宝花瓶を出品し、有功銅賞を受賞。翌年(1876)その技術を認められ、横浜のストロン商会と契約を結び、同年フィラデルフィア博覧会に出品、銅賞を受賞。その後もパリ万博(1900)、セントルイス万博(1904)で金賞を受賞するなど多数の受賞を重ね、その技術は高く評価され、繊細な技法で名声を得た。明治29年(1896)には、帝室技芸員に選出されている。昭和2年(1927)83歳で死去。

### 8 展示構成

- ①前時代（中国・明～清時代、江戸時代の七宝）
- ②世界を魅了した並河七宝
- ③同時代の七宝
- ④日本画家との交友

### 9 本展のみどころ

- (1) 明治工芸の代名詞となっている「超絶技巧」による妙技を間近にご覧いただけます。
- (2) 明治から大正にかけて活躍した京七宝の巨匠、並河靖之の初期から晩年までの作品を一堂に公開。県内初となる並河靖之の大回顧展。全体の構成を①前時代（中国・明～清時代、江戸時代の七宝）②世界を魅了した並河七宝③同時代の七宝④日本画家との交友とし、さらに②においては並河靖之の業績をはじめ、風景や花鳥といった図柄による作風の違いを明らかにした分かりやすい展示。
- (3) 並河七宝の名品58点に、当時「二人のナミカワ」と高い評価を受けた溝川惣助ら同時代に活躍した七宝作家の作品を加え、全70点の七宝作品を紹介。
- (4) 並河作品のもととなる下図や並河工場で使用していた道具類など、貴重な資料を紹介するコーナーを設置。

- (5) 富岡鉄斎や福田平八郎など親交があった日本画家たちの絵画作品も併せて紹介。  
 (6) 並河靖之七宝資料（並河靖之七宝記念館蔵）は、国の登録有形文化財に指定されている重要な文化財です。

## 10 広報文

- (1) 京都出身の七宝作家、並河靖之(1845－1927)。中国の有線七宝に学び、独自の改良を重ねながら国内外の博覧会に積極的に作品を発表し、その評価を高めていきます。やがて、「世界で一番の七宝作家」と賞されるまでになり、明治29年、帝室技芸員として当代一流の工芸家として名を馳せま<sup>なみかわそうすけ</sup>す。本展は、並河靖之の初期から晩年までの作品を一堂に紹介し、その魅力に迫ります。併せて同時代に活躍した瀧川惣助(1847－1910)の作品や富岡鉄斎(1836－1924)など親交のあった日本画家の作品を紹介します。(245文字)
- (2) 明治時代、輸出用の工芸として人気を博した七宝。その中でも特に注目を集めた京七宝の巨匠、並河靖之(1845－1927)。本展は、その並河靖之の初期から晩年までの作品を一堂に公開し、その魅力を紹介する県内初となる回顧展です。また、同時代に活躍した七宝作家や親交のあった日本画家の作品も併せて展示します。繊細な仕事の中に優雅さが溢れる並河靖之の雅な技をご堪能ください。(181文字)
- (3) 明治時代、海外でも人気を博した京七宝。並河靖之(1845－1927)は、その中でも特に注目を浴びた七宝作家。本展では、並河靖之の初期から晩年までの作品を一堂に紹介。同時代に活躍した七宝作家や交流のあった日本画家たちの作品も併せて展示。(109文字)

## 11 主な出品作品(作家生年順)

並河靖之	「菊御紋章藤文大花瓶」	明治～大正期 (19－20世紀)	並河靖之七宝記念館蔵
並河靖之	「桜蝶図平皿」	明治期 (19世紀)	京都国立近代美術館蔵
並河靖之	「花鳥図花瓶」	明治29年頃 (c. 1896)	清水三年坂美術館蔵
並河靖之	「菊唐草文細首小花瓶」	明治～大正期	並河靖之七宝記念館蔵
瀧川惣助	「柳燕図花瓶」	明治期 (19世紀)	京都国立近代美術館蔵
富岡鉄斎	「協天大帝像」	明治26年 (1893)	個人蔵
福田平八郎	「鯉」	大正12年頃 (c. 1923)	並河靖之七宝記念館蔵

## 12 会期中のイベント

すべてのイベントは事前の申込みが必要です。申込方法は次のいずれかの方法をお選びください。  
 ただし、イベント毎に選べる申込方法が異なりますのでご注意ください。

### ・ウェブによる申込フォーム

ホームページのURL、または各種チラシのQRコードを読み込み、必要事項を記入してください。

### ・往復はがき

①イベント名及び開催日、②申し込む方のお名前、③日中連絡のとれる電話番号、④メールアドレス(任意)を記載し、下の宛先までお送りください。

〒319-1703 北茨城市大津町椿2083  
 茨城県天心記念五浦美術館 ○○(△月◇日)係

### ・来館による申込み(総合受付または情報ライブラリー)

その場で申込書をご記入ください。

### (1) 担当学芸員による作品解説

展覧会のみどころなど、スライドを用いてご紹介します。

・日時：①7月30日[土] ②9月4日[日] 各日午後1時30分～(約30分)

- ・会場：講堂
- ・定員：57名 ※参加無料、当日午後1時より整理券配布予定（先着順）

(2) 来て・見て・発見！アートツアー for kids

美術館職員と一緒に展覧会を見て回り、作品の前で気なることを話し合っ絵の見方を深める活動です。ミニ制作体験もあります。

- ・日時：7月16日[土] 午前10時～12時
- ・会場：展示室、講座室
- ・対象：小中学生とその保護者（5組まで） ※要事前予約（先着順）
- ・参加費：小中学生無料 ※保護者のみ企画展チケットが必要です。
- ・申込方法：申込フォーム 申込み期間：6月21日（火）～7月13日（水）

(3) 映画会

200インチの大画面で懐かしの名作などを上映します。

- 7月10日[日]：「奥さまは魔女」（1942年／モノクロ／アメリカ）
- 8月14日[日]：「名犬ラッシー（家路）」（1943年／カラー／アメリカ）
- 9月11日[日]：「ジェームズ・ディーンのすべて 青春よ永遠に」（1975年／カラー／イギリス）
- ・各日とも午前10時～
- ・会場：講堂
- ・定員：57名 ※参加無料、要事前予約（先着順）
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき、来館（情報ライブラリー）

(4) 有線七宝制作体験講座

七宝作家の先生を講師にお迎えし、素敵な七宝作品を制作します。

- ・講師：森 千鶴子（七宝作家・日本工芸会正会員）
- ・日時：7月23日[土]、24日[日] 午前9時30分～午後4時30分
- ・会場：講座室
- ・対象：高校生以上の方（各日6名） ※要事前予約（抽選制）
- ・参加費：あり ※企画展チケットが必要です。
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき

(5) 七宝づくりに挑戦！

当館職員による基本的な七宝制作を行います。

- ・日時：8月6日[土]、7日[日] 午前10時～午前11時30分
- ・会場：講座室
- ・定員：各日10名 ※要事前予約（抽選制）
- ・参加費：あり ※企画展チケットが必要です。
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき

(6) セタイベント 金銀<sup>おなご</sup>砂子<sup>すなご</sup>でアート缶バッジ

日本画の技法「砂子」を使ってオリジナル缶バッジを制作します。

- ・日時：7月2日[土]、3日[日] 午前10時～午前11時
- ・会場：講座室
- ・定員：各日20名 ※岡倉天心記念室チケットが必要です。
- ・申込方法：当日整理券

### 13 感染症拡大防止について

当館では、感染症拡大予防として次のような取り組みを行っています。

- マスク着用のうえ美術館入口での検温および手指の消毒（消毒液は館内数か所に設置しています。）
- ソーシャルディスタンス確保のための展示室内に滞在する人数の制限
- イベント参加人数の制限、イベント参加者の把握（一部）

【広報用図版】 ※表紙の並河靖之「桜蝶図平皿」も提供可能です。



並河靖之「菊御紋章藤文大花瓶」  
明治-大正期(19-20世紀)  
高35.8cm 径15.3cm  
並河靖之七宝記念館蔵  
撮影・山崎兼慈



並河靖之「菊唐草文細首小花瓶」  
明治-大正期  
高13.3cm 径6.5cm  
並河靖之七宝記念館蔵



濤川惣助「柳燕図花瓶」  
明治時代(19世紀)  
高43.0cm  
京都国立近代美術館蔵  
撮影・木村羊一



「七宝花車形釘隠(5点)」  
延宝5年(1677)  
各10.4cm×16.7cm  
宮内庁京都事務所蔵



並河靖之「蝶に花丸唐草文飾り壺」  
明治時代中期(19世紀)  
高12.0cm 径9.0cm  
京都国立近代美術館蔵



富岡鉄斎「協天大帝像」  
明治26年(1893)  
136cm×57.3cm  
個人蔵

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
  - ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
  - ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
  - ・図版はデータでの提供となります。
- 広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



当館HPへ



【問い合わせ先】

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083  
TEL: 0293-46-5311 FAX: 0293-46-5711  
E-mail: kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp  
展覧会担当: 村木正英 / 広報担当: 大津友美  
※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。